

高校球児と約 100 年の歴史から見る高校野球の魅力

なぜ、この「高校球児と約 100 年の歴史から見る高校野球の魅力」というテーマで記述しようと思ったのか、その答えは両親の存在です。私自身スポーツ観戦が好きで、その中の 1 つに野球観戦があり、プロ野球はもちろん高校野球も大好きである私に対して、両親は高校野球にしか興味がないのです。そこで以前から、同じ「野球」というスポーツなのに、レベルの高いプロ野球ではなく、高校野球だけに興味関心があり、観たくなる理由はなぜなのだろうか？という疑問を抱いていたため、上記のテーマで執筆しようと思いました。

本論文では、両親のようにプロ野球には興味がないのに高校野球だけは観たいと思い、興味を抱くのかを明らかにしていくことを目的としていました。仮説では、目の前の試合に全力で勝ちに行く一生懸命なプレーにあるのではないかと考えましたが、本論文を執筆していくきっかけとなった両親は、1 回負けたら終わりである真剣勝負であること。また、自身の高校時代と重ね、一生懸命に頑張る気持ちを理解できるからこそ、母校ではない高校でも応援したくなることが高校野球にしかない魅力であると言っていました。年を重ねても高校時代の 3 年間は色褪せない特別な時間であるのだと感じ、これこそが、幅広い年齢層に支持される大きな要因の 1 つであることが分かりました。両親の意見を聞き、本論文の目的を少し達成できた気がします。しかし、本当の意味で目的を達成するには数十年後に高校野球を観た際、両親の言っていたことを理解できて初めて達成できるのだと考えます。

本論文を執筆していく中で、改めて高校野球の魅力を知ると共に新たな魅力や今後の課題などを発見することができ、「高校球児と約 100 年の歴史から見る高校野球の魅力」というテーマで執筆して良かったと思えました。